

あなたに寄り添い、今日も動く！



よいたまみ通信

第18号
2023年 夏号

発行：依田 眞美子松原市議会議員
〒580-0044 松原市田井城 2-2-2-402
TEL&FAX：072-334-2281



ごあいさつ



暑い毎日、皆さまいかがお過ごしでしょうか？お見舞い申し上げます。

6月26日に、令和5年第2回定例会が閉会しました。今回は、5月31日に『孤独・孤立対策推進法』が成立したことを受け、1点目に孤独・孤立対策について（若者の引きこもりに関する支援・独居高齢者への支援・生活困窮者自立支援）。2点目に不登校支援の推進について。3点目に本市のSDGsの取組みについて（現時点での進捗状況と今後について）個人質問をしました。福祉文教委員会では、ワクチン接種（子宮頸がんワクチン・带状疱疹ワクチン）について、学校給食について質問をしました。前向きな答弁を頂くことができましたので、今後も積極的に提案し、そして皆さまからの大切なお声を市政に届けてまいります。

まだまだ猛暑が続きます。どうぞご自愛くださいませ。

緊急通報装置レンタルのご案内

一人暮らしの高齢者に、ボタンひとつで看護師が常駐する受信センターにつながり、消防署に連絡できる緊急通報装置のレンタルをしています。

対象：在宅で生活している
65歳以上の一人暮らしなどの人
※詳しくは 高齢介護課まで



特殊詐欺被害防止！！

「松原市役所 △△課の●●です・・・」
と、市役所職員を名乗り、松原市内で詐欺が急増しています。不審な電話があれば、一度電話を切り、家族や松原警察に相談してください。

不安を感じたらご相談ください
警察相談専用窓口 #9110
消費者ホットライン 188

だまれないで！



よいまみの 活・動・報・告



▲天美西3丁目 点字ブロック改修



▲田井城4丁目 道路表示改修



▲福祉新栄ブロック
スカイクロス大会
6月14日



▲日本防災士・地方議員総会
7月10日



▲田井城1丁目
歩行者信号機設置



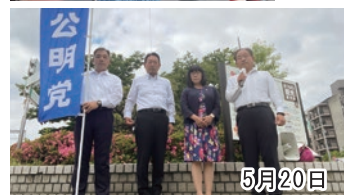
▲中央小学校避難所
ネットワーク開設
7月7日



▲防災講習会
7月2日



▲週3回
駅で朝の挨拶



▲一斉街頭in河内天美駅
5月20日

個人質問

(壇上質問・市長答弁、教育長答弁 要旨)



QRコードから議会の映像が見れます ▲



1. 孤独・孤立対策について

問 5月31日に『孤独・孤立対策推進法』が、参院本会議で成立。この推進法の孤独・孤立問題については、「社会全体の課題」と明記されていますが、本市における現状の取組みと今後に向けてのお考えを聞かせて下さい。

答 市では、孤独・孤立状態になっている方に対する社会参加を目的に、

- ①若者を対象とした対面や電話による相談。巡回相談、ひきこもりから一歩社会へ踏み出そうとする方を対象とした居場所の提供(若者自立支援事業)。
- ②元希者クラブによる60歳以上のひきこもりの方への訪問活動や元希者カフェ(5か所)を開催(独居高齢者への支援)。
- ③生活困窮者を対象とした様々な生活支援(生活困窮者自立支援)など、必要に応じた支援を行っています。



要望 この法案が来年4月1日から施行されるため、官民が必要な連携・協働を図り、新たな支援強化の体制整備をひいていただきたい。



2. 不登校支援の推進について

問 毎年不登校の児童・生徒数は増加している傾向だと思われま。不登校を一人でも減少させそして一人も増加させないためにと学校を中心にネットワークを広げ支援を展開されていますが、現状の取組みと今後についてのお考えをお聞かせ下さい。

答 児童生徒が、安心できる学校づくりをしていこうとするインターナショナルセーフスクールの取組みなどは不登校の未然防止につながると考えております。様々な理由で不登校となっている児童生徒には、スクールソーシャルワーカーをはじめとする専門人材と共に、原因や背景を総合的に見立て誰一人取り残さないように寄り添い関係機関と連携して行っています。また教室に入りにくい児童生徒には、校内教育支援ルームへの登校を促進し、更に松原市教育支援センター「チャレンジルーム」では、日常の学習支援や自主活動、遠足や合宿などを通して安心・安全な居場所となるよう努めています。今後も福祉部局や専門機関とも連携を図り、児童生徒の状況の丁寧な把握を前提に継続した支援を行ってまいります。



要望 COCOLOプランにあるように、学びの場の確保(自宅から出れない児童生徒にも学びの機会を与える支援)や一人で悩みこまないよう保護者へのサポートや同じ悩みを共有できる保護者の会などを検討していただきたい。



3. 本市のSDGsの取組みについて

問 スタートの2015年より8年が経過したSDGs 世界中にある環境問題、差別、貧困、人権問題といった課題を世界の皆で2030年までに解決していこうという計画・目標であると認知していますが、現時点での進捗状況と今後についてお聞かせ下さい。



答 企業・団体と連携してSDGsをより一層推進していく事を目的に「松原市SDGsパートナー制度」を制定し、SDGsの達成にむけて取り組む企業・団体をパートナーとして登録し、その内容を市ホームページ等で広くPRしています(現在37団体)。

また「松原市ゼロカーボン宣言」をはじめとした環境政策にも取り組んでいるところです。今後も住民に最も身近な基礎自治体として、SDGsへの意識を高めより多くの市民の皆様や市内企業の方々と連携し、達成に向けた取り組みの推進と普及啓発を進めてまいります。再質問で、SDGsのターゲットの一つである食品ロスの削減・小中学校の給食残渣や食育の工夫点等を尋ねました。



要望 今後も市民・事業者への食べ物を無駄にしない意識向上の啓発を図っていただき、中学校での献立募集を小学校(高学年)においても実施し「給食を残さず食べれる献立」を募集することで食品ロスにつなげていただきたいと願います。



福祉文教委員会 一般質問



ワクチン接種について

(子宮頸がんワクチン・带状疱疹ワクチンの助成)

要望 がんに罹患しないよう対象者に、令和5年4月から開始された9価ワクチン(15歳以下は2回接種)の安全性・有効性を個別通知し一人でも多くの方に接種していただきたい。带状疱疹は80代には3人に1人が罹患し子育て世代(50代)から男女問わず急増しているときいています。中年へのサポートとして助成を前向きに検討いただきたい。



給食について

要望 学校の時間割については学校の裁量で設定できるとの答弁より、時間の確保や更なる工夫に努めていただきゆとりをもって喫食できる環境づくりをお願いしたい。